



国土交通省近畿地方整備局

Kinki Regional Development Bureau

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

近畿地方整備局 福井河川国道事務所	配布日時	平成29年 5月22日 14時00分
資料配布		

件名	『福井平野におけるコウノトリの 生息ポテンシャルマップ（試案） を作成しました！』  ～コウノトリの餌生物の分布推定状況からコウノトリの生息 可能な場所を推定し地図化を試みました～
----	---

概要	<ul style="list-style-type: none"><li>●越前市をはじめ福井県で取り組んでいるコウノトリの野生復帰を後押しするために福井平野の関係者の情報共有ツールとして、福井河川国道事務所は、コウノトリの生息可能な場所を示すポテンシャルマップの試案を作成しました。</li><li>●今回の作成方法は、コウノトリの野生復帰の先駆的な取り組みを行っている豊岡市・円山川流域や関東地方のコウノトリのポテンシャルマップを参考に作成したものです。</li><li>●今回のマップは試行であり、今後改良し、より精度の高いものを作っていきます。</li></ul>
----	---

取扱い	—
-----	---

配布場所	福井県政記者クラブ
------	-----------

問合せ先	国土交通省 近畿地方整備局 福井河川国道事務所 福井県福井市花堂南2-14-7 電話 0776-35-2661（代表） 副所長（河川） 田村 友秀（内線204） 河川管理第一課長 山本 一浩（内線331）
------	--

○ 福井河川国道事務所におけるポテンシャルマップの取り組みについて

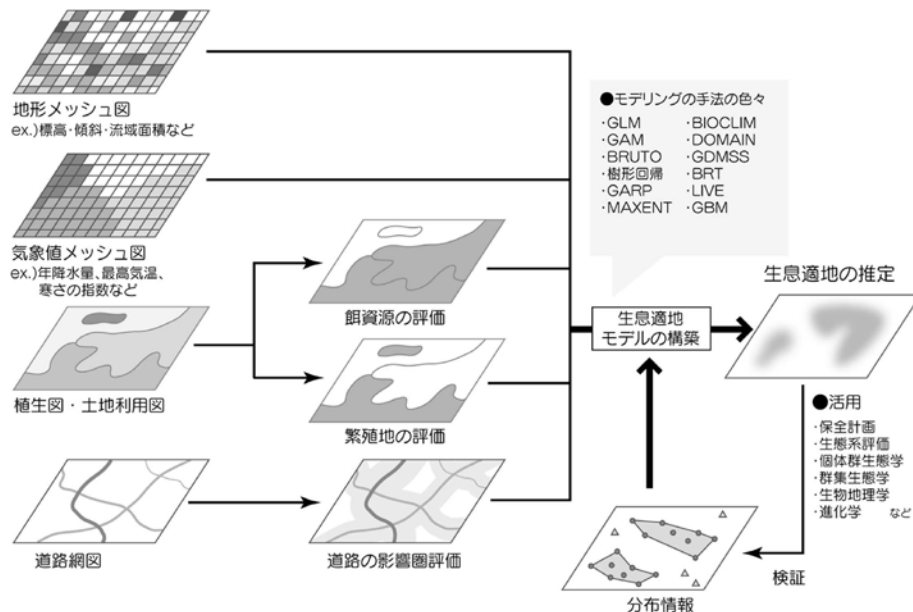
越前市をはじめ福井県で取り組んでいるコウノトリの野生復帰を後押しするために福井平野の関係者の情報共有ツールとして、コウノトリの生息可能な場所を示すポテンシャルマップ（潜在生息適地図）の試案を作成しました。

今回のマップは試行であり、今後改良し、より精度の高いものを作っていきます。

○ ポテンシャルマップとは？

ポテンシャルマップとは、対象とする生物の生息環境可能性（推定）を示した図であり、図化するGIS上での処理を容易にするため格子状（グリッド：メッシュともいう）のマップにより図化を行ったものです。

ここ10年ほどの間に急速に発展を遂げてきた生態学を基礎とする保全計画のツールであり、土地利用の計画、開発が及ぼす影響を評価するために、対象生物の生息環境のポテンシャル（潜在生息適地）を把握するポテンシャルマップ（潜在生息適地図）が作成されています。



ポテンシャルマップ作成の例（三橋(2005)<sup>1</sup>より）

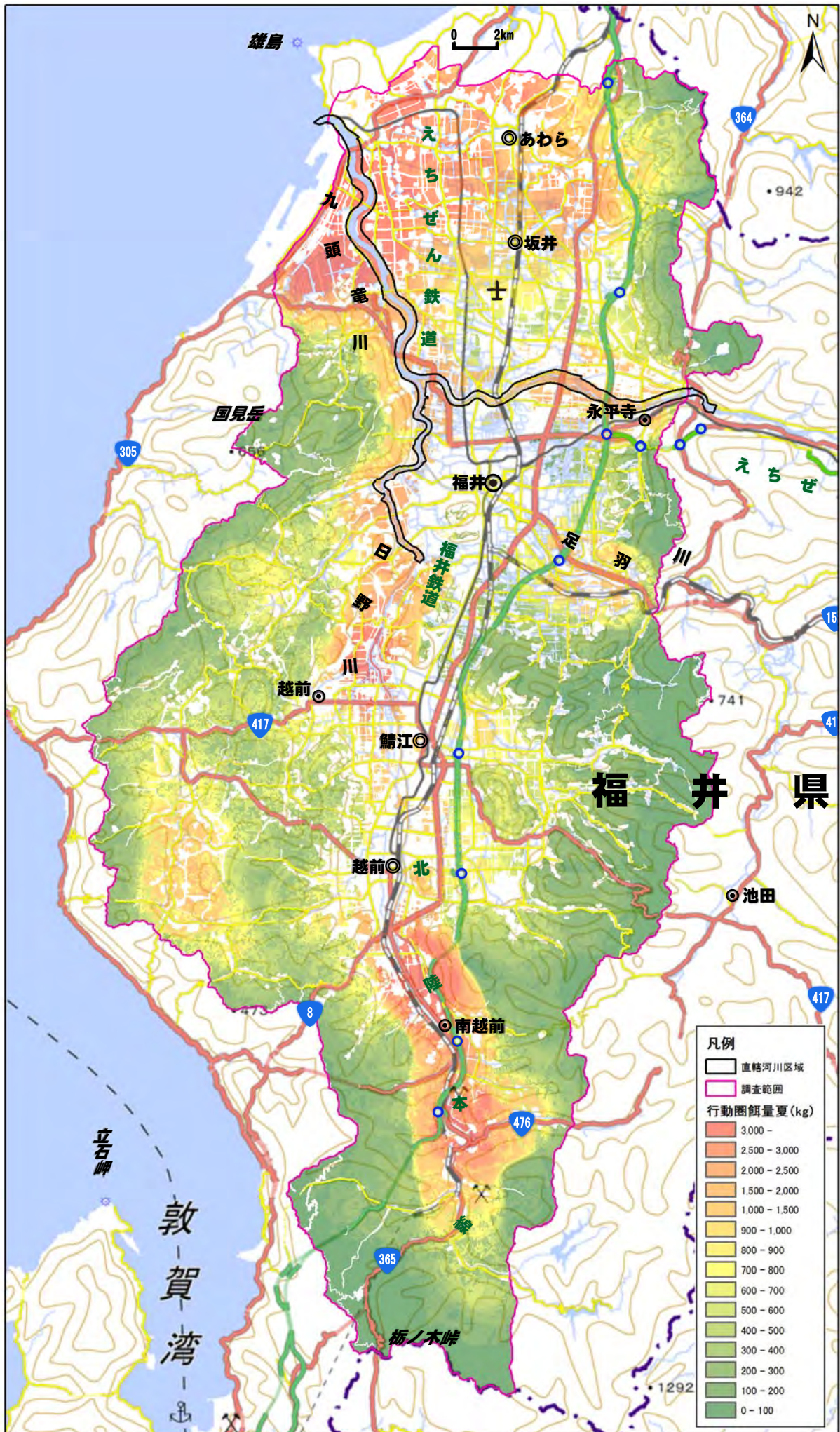
○ 今回のポテンシャルマップ作成方法は？

今回のポテンシャルマップ作成にあたっては、以下の3つの指標によるマップを作成し重ね合わせました。

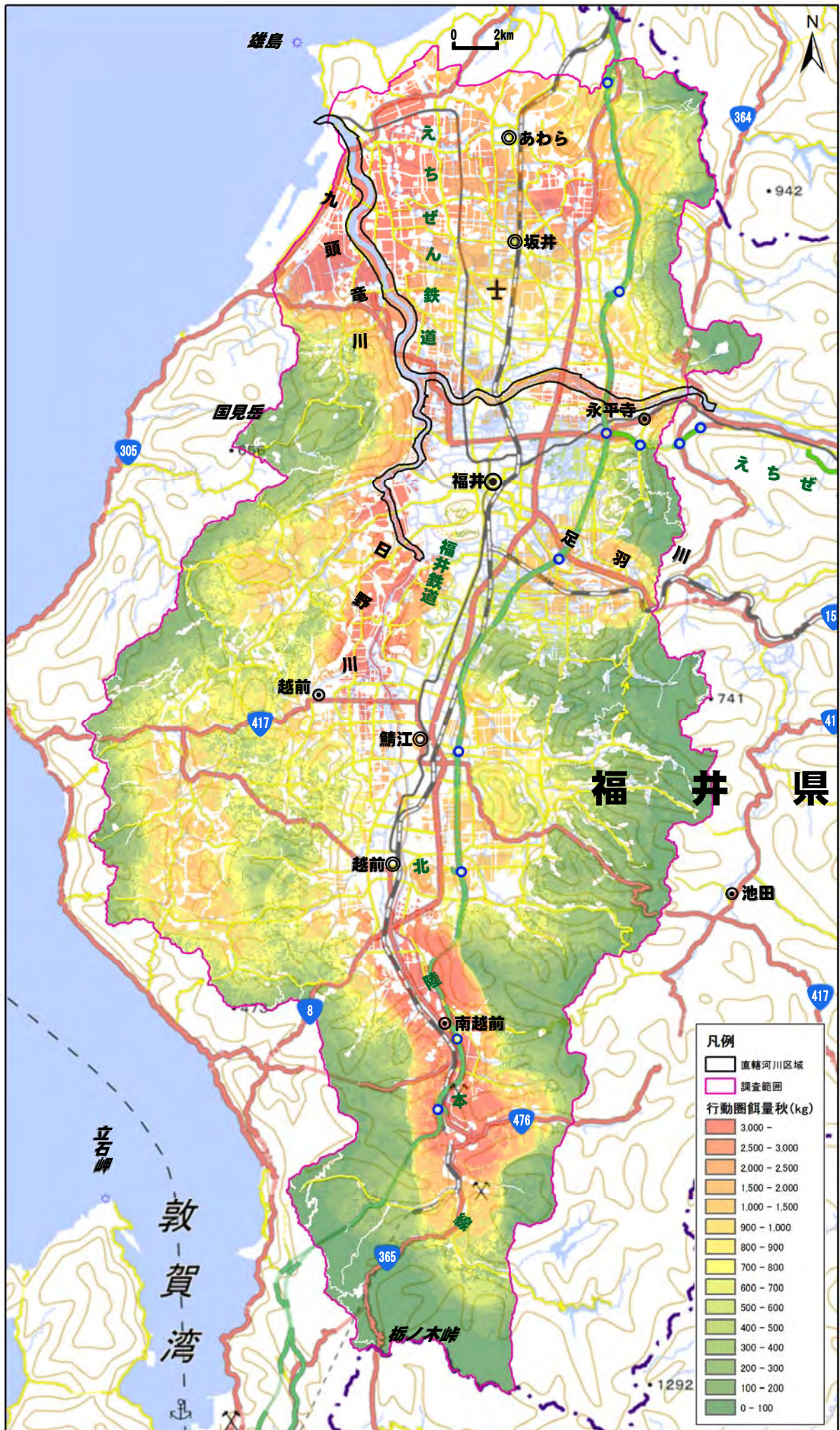
- ① 土地利用毎に餌生物量を設定し「餌生物量マップ」を作成しました。
- ② 農地的土地利用の多様性を示す「さとやま指数」<sup>※</sup> を用いてマップを作成しました。
- ③ 海岸からの距離を勘案しマップを作成しました。

「さとやま指数」<sup>※</sup>：単調な水田景観が多く見られる地域では低く、山間部の水田を有する地区において高い傾向を示す指数です。

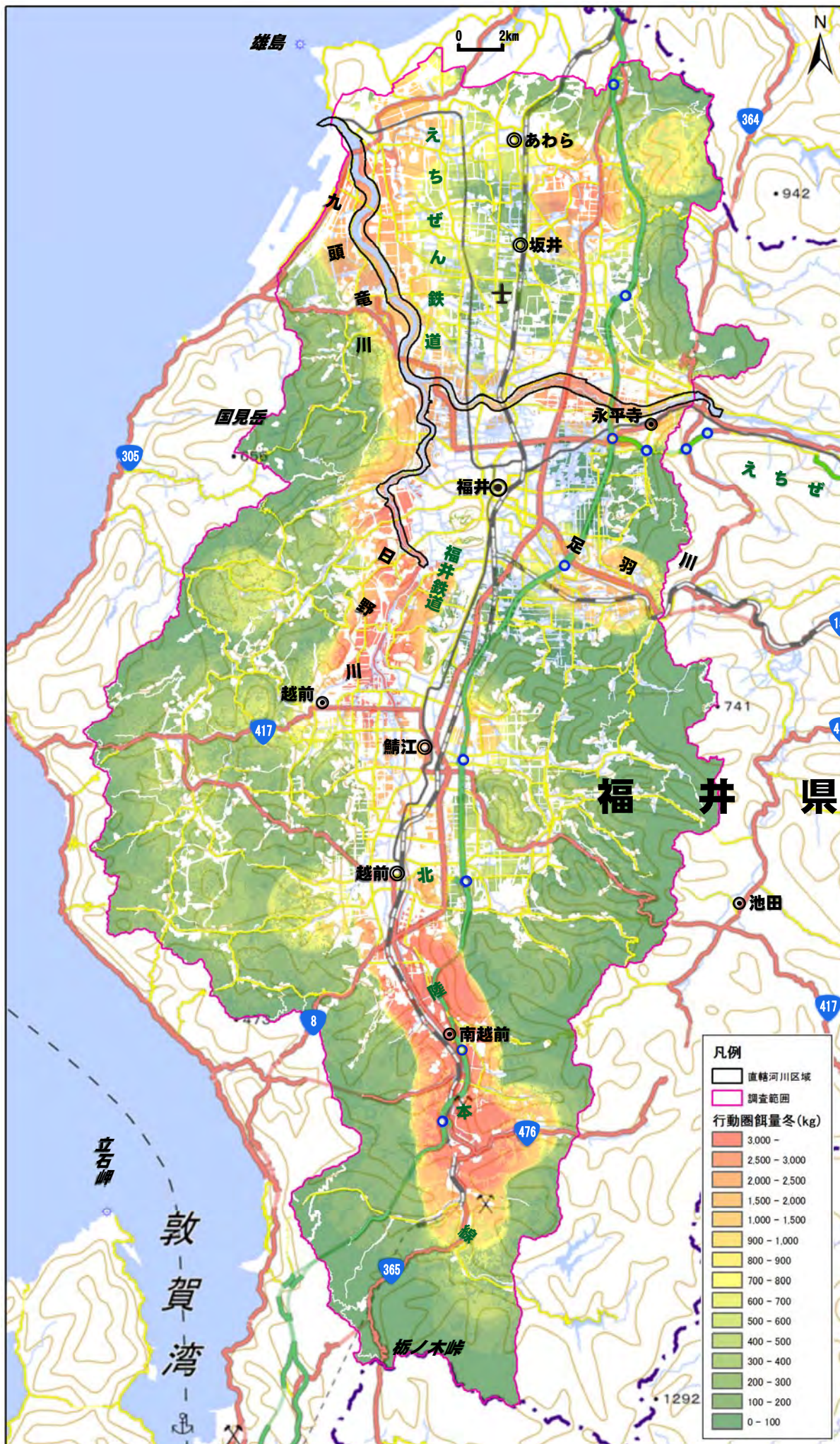
<sup>1</sup> 三橋弘宗, 2005, 生息適地モデルの方法論：GBIFデータの活用における課題と展望. ワークショップ 21世紀の生物多様性研究 生物分布情報から探る生物多様性—観察情報の集積とその利用—.



コウノトリポテンシャルマップ (夏季)



コウノトリポテンシャルマップ（秋季）



コウノトリポテンシャルマップ (冬季)